

平成24年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	「ふるさと納税」	記載内容について	充事業	担当部署	企画総務部 企画課
総合計画体系			根拠法令 計画など	「ふるさと納税」	根拠となる計画・法令を記入しております。
基本政策(大項目)	5	分権社会に向けた新しい鳴門づくり	業 間	開始	平成 20 年度
政策(中項目)	2	行政		終 期	平成 20 年度
(小項目)		行政			未定
施策	2	効率的・効果的な行政サービスの提供			
基本事業	1	財政の健全化			

◎事業概要 (PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 本市に事業の対象となる人、ものなどの種類を選択し、詳細を記入しています。															
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	本市を活性化させるために、ふるさと納税の導入を希望している。事業対象をどのような状態にするのが目標かを記入しています。															
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>寄附金額</td> <td colspan="5">事業による成果の具体的な目標値を記入しています。</td> <td>1,000</td> <td>千円</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位	寄附金額	事業による成果の具体的な目標値を記入しています。					1,000	千円
指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位											
寄附金額	事業による成果の具体的な目標値を記入しています。					1,000	千円										

◎実施結果 (DO)

事業実施内容	23年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	平成22年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行った。また、観光課に依頼し、近畿ホムズ、愛媛ホムズにおいて、ふるさと納税の配布を行った。
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	平成23年度に実施した内容を記入しています。
活動指標	1 ふるさと納税寄附者人数	22年度実績 37 23年度実績 20 24年度目標 30 25年度目標 30 26年度目標 40 人
活動指標	2 うちリピーター	事業の対象者数やイベント回数など活動量を示す値を記入しております。
成果指標	寄附金額	成果目標と同じ指標が入るようになっております。
成果指標	目標達成率(実績/目標)	146.0 %

コスト分析		22年度実績	23年度実績	24年度	25年度	26年度	単位
事業費	(財源内訳の合計)	0	34	103	103	103	千円
財源内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源					3	
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)							2
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	人
	臨時職員等(2,012千円/人)						
総事業費	(事業費と事業にかかる人件費の合計)	652	686	755	755	755	千円

◎平成24年の実施状況(DO)

現在の実施状況	記念品等寄附金控除の配付 平成24年度に実施済・予定の内容について記載しています。 納税PRパンフレット ように、いただいた寄附金 のため予算事業化
---------	--

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価		理由等所見欄	
	6 /10	<input checked="" type="checkbox"/> ① 廃止した場合に支障が出る。	ふるさと納税寄附金制度をPRすることにより寄附金額が増加すれば、一般財源に頼らない行政活動が可能になり市民サービスの向上につながる。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 施策 効率的・効果的な行財政運営の推進 の達成につながる事業である。		
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。		
		<input type="checkbox"/> ④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要な不可欠な事業である。		
		<input type="checkbox"/> ⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。		
2.有効性の評価		理由等所見欄		
8 /10	平成23年度に実施したこと及び平成24年度に実施済・予定の内容をふまえて、『必要性』、『有効性』、『効率性』の3つの観点で評価しています。当てはまるものにチェックを入れ、1項目2点の、10点満点での評価です。		県人会への積極的な働きかけ、ふるさと記念品等の充実などを行ったことにより、新規寄附者の増加、またリピーターの確保につながった。	
	3.効率性の評価			理由等所見欄
	8 /10	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業実施手法は適切である。		PR対象を絞ったり、受付窓口の一本化を図ることが、効率性向上につながるかを今後の検討課題としてみたい。
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業費を削減する余地はない。		
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
<input checked="" type="checkbox"/> ④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。				
<input type="checkbox"/> ⑤ 効率性向上の余地はない。				

◎今後の方向性(ACTION)

課題等	平成23年度は、平成22年度と比較して、寄附者人数及びリピーター数が減少している。平成24年度において、 納税制 さらなる 平成25年度以降に解決しなければならない課題がある場合に記載しております。		
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	2 課題等をふまえての、事業の方向性を記入しています。
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の			
今後の改革案	実施予定時期	平成25年度 4月	
どのように改革するのか	「ふるさと鳴門」を感懐している方が、ふるさと納税PRパンフレット及びホームページを通じて、今後の方向性が『3. 現状維持』以外の場合、いつどのように改革するのかを記入しています。		

◎外部評価

評価結果(委員)	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充
評価結果(市民評価員)	外部評価委員会における評価の結果を記入することとなります。			
今後の改革の方向性	外部評価の結果を受けて、今後、どのように改革していくのか、その方向性を記入することとなります。			